ステージ

文 文化会館会場上演時間　団 サンロード会場上演時間

森戸獅子舞保存会
13時10分～ 団　15時00分～ 文

江戸時代の安永六年に始まったと伝えられ、今日では小学生から社会人までが参加しています。獅子舞を間近で見ていただく貴重な機会なので、ぜひお楽しみください。

多和目天神社獅子舞保存会
13時10分～ 文　15時10分～ 団

江戸時代の天保年間より伝わり、遠い昔の祖先より苦労を積み重ね、口伝えされたものが今日まで継承されております。当日は三番獅子「竿掛りの舞」をご覧入れます。

北浅羽獅子舞保存会
15時50分～ 文

江戸時代の天保年間より続く演目は「雌獅子かくしと竿がかりがあり、天狗・花笠・雌獅子・みの獅子などで構成されています。祭礼では舞いと練り歩きを日没まで続けます。当日は雌獅子かくしもご披露します。

入西くどき保存会
13時50分～ 団　15時40分～ 文

入西くどきは、江戸時代中期につくられ、当時の入西地区にあった村の名前が、全て歌に詠みこまれています。八年ぶりの坂戸のまつりの開催に向けて、出演者一同、最高の演舞を披露したいと張り切っています。

戸口囃子会
13時50分～ 文　15時50分～ 団

神田大橋流旧囃子で大正時代に始まったとされ、戦争による中断もありましたが、昭和五十二年に再復活し、現在に至ります。懸命に練習した子供から大人の絆のステージをお楽しみ下さい。

大宮住吉神楽保存会
14時00分～ 団

大宮住吉神社に伝わる里神楽で、国選択無形民俗文化財にも登録されています。厳かな曲目や賑やかな曲があり、当日は多彩な舞と演奏を披露しますので、お楽しみください。

埼玉県立特別支援学校坂戸ろう学園 寄宿舎太鼓サークル こぱと会
12時30分～ 団　14時20分～ 文

「自分たちも叩きたい」聴こえる人たちの太鼓を叩く姿を見て声を上げ、一九七七年に結成されました。生徒たちはお互いのバチを見て、身体で音を感じながら叩きます。心をひとつにして叩く姿をぜひご覧ください。

坂戸・鶴ヶ島鳶組合 坂戸・鶴ヶ島消防記念会 木遣り はしご乗り
12時30分～ 文　14時40分～ 団

坂戸・鶴ヶ島鳶組合は組合内に若鳶会、傘下組織に消防記念会があり、総勢二十五名です。木遣りは、江戸木遣りの流れを汲み、労働歌が始まりとされます。現在では上棟式や祭りの御祝い、安全祈願として歌われます。はしご乗りは、乗り手と支え手の信頼関係があってこそなせる技芸です。伝統ある木遣りとはしご乗りを是非御観覧ください。

さかど太鼓
12時40分～ 文　16時20分～ 団

子どもから大人まで心を一つにし、伝統文化の継承に力を注いでいます。和太鼓の力強い音とリズムを通じて感動と興奮を届けられるよう心を込めて演奏します。お祭り当日は一緒に素晴らしい時間を過ごしましょう。どうぞ私たちの演奏をお楽しみください。

▲詳細や各団体の祭礼情報はこちら

神輿

展 神輿展示場所

赤尾八坂神社世話人会
展 四区の一集会所

疫病退散のご利益があり、祭りの時お社から神様をお神輿にお移しして村内を練り歩きます。子供達に健康で強い子になって欲しいという気持ちで参加します。

島田神輿會
展 坂戸幼稚園駐車場

祭り好きな有志十名程が集い担ぎ会が発足し、その後仲間が増え神輿会と改め、会員も三十人程となりにぎやかさを増してきました。自慢の神輿をぜひこの機会にご覧ください。

泉町自治会
神輿練り歩き

地元住民の方の寄付により購入されたものです。祭りの時は子どもに呼びかけ、集まってもらい元気に担いでいます。みんなで力を合わせてがんばります。

宮町協和会
展 サンロード会場

町内会員の協力のもと、浅草の神輿師宮本重義により製作されました。七十年近く親子三代に渡り担ぎ継がれてきた歴史をぜひご覧ください。

二丁目自治会
展 坂戸駅南北自由通路
展 四区の一集会所

二丁目にはこども神輿を含めて神輿が二基あり、毎年七月の坂戸神社のお祭りで神輿を披露しております。地域に受け継がれてきた神輿をこの機会にぜひご覧ください。

黄金町親和会
展 サンロード会場

坂戸駅北口、日の出町と本町の一部区域の五十世帯程で組織する黄金町親和会は、子供神輿を有し、例年七月に開催される坂戸神社祭に参加しています。

睦柳会
展 サンロード会場

睦柳会では、昭和二十八年に町内のまとまりの印として市内で初めて子ども神輿を導入しました。この神輿は地元有志と子ども会の協力で作られたものです。

緑町自治会
展 サンロード会場

神輿は地元有志の方及び地元企業の協力を得て、昭和五十二年に作られました。五十年に渡り、町内の子どもたちに担ぎ継がれています。

南町自治会
展 サンロード会場

地域の人たちが町を盛り上げるため、昭和五十二年に作られました。以来、半世紀に渡り担ぎ継がれ、地域住民に愛され親しまれる「みこし」となっています。

三和会
展 サンロード会場

本町三和会の子ども神輿は昭和三十二年頃から町内会の子ども達に担がれ来ました。現在まで約六十六年間、その間部品の交換や修理をして、現在も子ども達に担がれています。

第一住宅坂戸団地自治会
展 坂戸駅北口

神輿は平成二十二年度のコミュニティ助成事業により購入したものです。鳳凰の飾りは重厚感があります。子ども達にも容易に担げる神輿です。

ボーイスカウト坂戸第一団

今回の参加は、ビーバースカウト（小学一・二年生）が中心になります。主に屋外で活動し、仲間と一緒に遊びを通じてゲーム感覚で社会勉強ができます。「そなえよつねに」をモットーに「坂戸のまつり」を盛り上げたい！

山車

待 山車待機場所

二丁目はやし保存会

屋台は昭和三年に作られ、囃子は小田原囃子若狭流です。越生の黒岩より伝授され二葉会が演奏しています。

三若会
待 仲町集会所

三丁目のお囃子は「御殿囃子」と称し、名のとおり上品なお囃子を目指しています。山車は昭和天皇御即位奉祝祭（昭和三年）を機に町内で作ったもので、唐破風の屋根などが特徴です。夏祭りでは、手古舞が華を添えています。

四丁目はやし連同好会
待 元町集会所

囃子の系統は江戸囃子、神田囃子の木ノ下流です。昭和三年に塚越の指導により練習を始め、昭和五年に囃子連を組織しました。昭和十二年に日華事変で解散、終戦後昭和二十一年七月再組織されました。今では小中学生が十一人で頑張って覚えてくれています。

一丁目はやし保存会 親和会
待 旧伊勢屋

昭和二十三年に坂戸駅周辺の旧一丁目地区の消防団有志を中心に結成されました。流派は江戸神田囃子大橋流です。坂戸のまつりに来て頂いた方達が楽しめるようにまた来たいと思えるよう精一杯演奏させて頂きます。

粟生田囃子会
待 コミュニティ広場

粟生田囃子会は、昭和五十一年に横沼囃子連より伝授されました。昇殿、四丁目、ニンバ、屋台、ねんころ等の曲目があり、その他出演依頼に応じて活動中です。屋台もご協力で作成したものです。

塚越囃子連
待 関口守正建材

明治三十二年に現在の川島町角泉より伝授されました。流派は木の下流で、山車での演奏や踊りだけでなく、舞台での演劇的な演目も伝承しています。夏祭りでは小学生も参加して活発に活動しており、太鼓や笛の演奏や踊りの練習を重ねてきました。ご声援をお願いします。

島田囃子連
待 坂戸幼稚園駐車場

島田囃子連は総勢二十名の会員があり、その他希望者を募集しています。囃子は、塚越から伝授された木下流です。当日は島田地区から山車を曳行し、島田囃子の心意気をご披露いたします。

横沼囃子連
待 勝田工務店

横沼ばやし（木下流）で、明治四十一年頃川島町角泉から伝わりました。夏祭りでは天下泰平・五穀豊穣・家内安全を願って囃子を披露しております。その歴史は百十年以上になります。久々の大きなまつり・新たに加入した新会員の発表会です。練習成果をご期待ください。

紺屋囃子連
待 坂戸駅北口（居囃子）

紺屋はやしの流派は神田芝金杉流といい、明治三十七年頃に山田村網代（現在の川越市北山田）から伝承されました。三月の春祭り・七月の夏祭り・十月の秋祭り・十二月の三十一日の年越しはやしで囃子を奉納しています。